

第7回 ものづくり日本大賞九州地区表彰者

九州地区では第7回「ものづくり日本大賞」に、九州管内から経済産業大臣賞（2件7名）、特別賞（4件22名）、優秀賞（2件7名）、及び、九州経済産業局長賞（11件41名）の受賞が決定しました。

目次

経済産業大臣賞

案件名	受賞者（受賞代表企業）	頁
製品・技術開発部門		
フィルム等の切断現場の大幅コスト削減を実現する超硬合金素材による高精度刃物の開発	秋山 秀親、中村 城、永尾 暁、 徳永 賢司、北島 龍二郎、増村 雄彦、 米倉 研二 (株式会社ファインテック)03
人材育成支援部門		
産・学・官・協の連携による久留米地区のゴム産業人材育成	(株式会社久留米リサーチ・パーク)05

特別賞

製造・生産プロセス部門		
鉄鋼圧延用ロールの省エネ、低コストを実現する世界初の再生技術・摩擦圧接技術の開発	山本 厚生、永吉 英昭、姜 孝京、 園田 晃大、古田 博昭 (株式会社フジコー)07
製品・技術開発部門		
ナノ粒子のダメージレス分散を実現する湿式微粒化装置「G-smasher」の開発	森光 孝典、加藤 隆司、星野 高明、 大石 和義、波多 英寛、牧野 晃久、 周善寺 清隆 (リックス株式会社)09
両親媒性を有する ACC ナノセルロース「nanoforest」の開発と実用化	坪井 国雄、橋場 洋美、才田 英明、 疋田 慎一、辻 翼、近藤 哲男 (中越パルプ工業株式会社)11

伝統技術の応用部門

世界初の革新的な塗装方法により、従来比工程数1/10を実現した、高耐久性塗装鏡面家具の開発	石井 康博、高松 守、山田 健太郎、 竹内 和敏 (株式会社イシモク・コーポレーション)13
---	--	---------

優秀賞

製品・技術開発部門		
自動車用鉄部品をアルミへ置換することを可能とするアルミ高強度化鍛造技術の開発	松本 大毅、川崎 宏史、恵良 秀則、 河部 徹 (株式会社戸畑ターレット工作所)15
自家発電設備のポンプ・モーターが洪水や津波等で水没することを防止する世界初の機器	前芝 信介、小川 佳一、平岡 芳豊 (昭和機器工業株式会社)17

九州経済産業局長賞

製造・生産プロセス部門		
業界初！電気接点に革命を起こす表面処理技術の開発（材料コストダウン 90% 達成）	中野 寛文、山田 亮、松本 晶一、 木村 弘孝、川添 佑典 (株式会社九州電化)19

製品・技術開発部門

世界オンリーワン 水素ステーションオンライン「水素燃料 CO 濃度計測装置」の開発	阪本 一平、寺本 要一、梅原 未貴、 木下 阿耶 (矢部川電気工業株式会社)	……21
病院給食の質の向上と経費削減を実現したマイクロ波再加熱カートの開発	中島 弘喜、山田 伸広、角町 直哉、 幸 篤志、江頭 広三、新里 拓也、 橋本 貴之 (株式会社中島製作所)	……23
タッチパネルディスプレイ用機能性フィルムのための熱影響を抑制するレーザー切断装置	池田 圭太、永原 不二雄、末安 幸一、 尾形 匡彦、納富 純一、浦野 祐樹、 野村 進二 (武井電機工業株式会社)	……25
世界最軽量級「非破壊糖度計」の開発	立石 賢二、垣本 慶太、福嶋 俊博 (株式会社メカトロニクス)	……27
耐震用落下物等防止措置併用軽量システム天井「サクシス天井W」	櫻木 弘 (株式会社サクシス)	……29
長年の経験・技術により開発した業務用真空ガラス管形（ヒートパイプ形）太陽集熱器	亘 元明、亘 大樹 (富士エネルギー株式会社)	……31
放熱用Aステージサーマルシート（製品名：熱ゼロ）～サーマルグリス代替商品～	古川 正司、古川 正和 (薩摩総研株式会社)	……33
茶園管理機械のロボット化技術の開発	加藤 正明、山崎 淳一、竹之内 博司、 今西 浩二、里中 一富、深水 裕信、 飯牟禮 啓介 (株式会社日本計器鹿児島製作所)	……35

伝統技術の応用部門

桐箱製造の伝統技術と異素材を組み合わせた桐製品の開発・販売	藤井 博文、山本 正章、中村 亮太 (株式会社増田桐箱店)	……37
-------------------------------	----------------------------------	------

人材育成支援部門

中小製造業でのロボット活用につなげる人材育成支援事業	(公益財団法人 北九州産業学術推進機構)	……39
----------------------------	----------------------	------

◆ものづくり大賞シンボルの由来



日本最古の書物「古事記」に記述されている伊耶那岐命・伊耶那美命が「天の沼矛（あまのぬほこ）」で国土を掻きまわし、それによって日本の始まり（＝ものづくりの始まり）があったとされる伝承をモチーフに表現。

ものづくり（＝国づくり）を継承する生産者の精神をシンボライズしました。

中心のエレメントは「天の沼矛（技術者）」そのもので、回りを囲む半月形は「大地（＝日本国土）」であり、日本に根を張り、豊かな国民生活の形成に貢献している様を表現しています。

カラーリングのブルーは「高度な製品・技術」と「文化・伝統を支えていく精神」をイメージさせています。